

平成21年度一般会計当初予算（案）の特色

経済・雇用対策に配慮し、過去最高額を確保

一般会計当初予算額 2,045億600万円(対前年度比 +25.12億円、+1.2%)

国の財政運営の指針である地方財政計画の伸び率 1.0%を上回る積極予算。

経済・雇用対策関連 294億円

- ・普通建設事業費の増(対前年度比 +16.2億円、+4.4%)
- ・中小企業資金融資対策の強化(融資枠 138億円 234億円)
(対前年度比 事業費 +2.2億円、+83.8%、融資枠 +96億円、+70.0%)

「環境リーディングシティ鹿児島の実現」と、九州新幹線全線開業を見据えた「魅力と活力あふれる都市の創造」を施策の中心に、人とみどりが輝くまちづくりを推進

みどりあふれる地球にやさしい環境リーディングシティ鹿児島の実現

九州新幹線の全線開業を見据えた魅力と活力あふれる都市の創造

安心して快適に暮らせる住みやすいまちの形成

子どもから大人までいきいきと学べる地域社会の創出

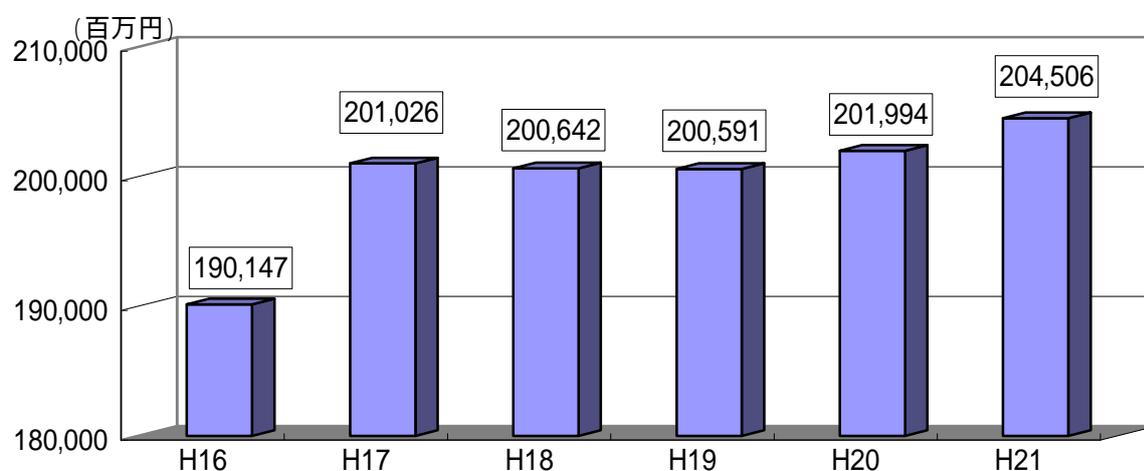
市政の推進にあたって

平成21年度当初予算(案)

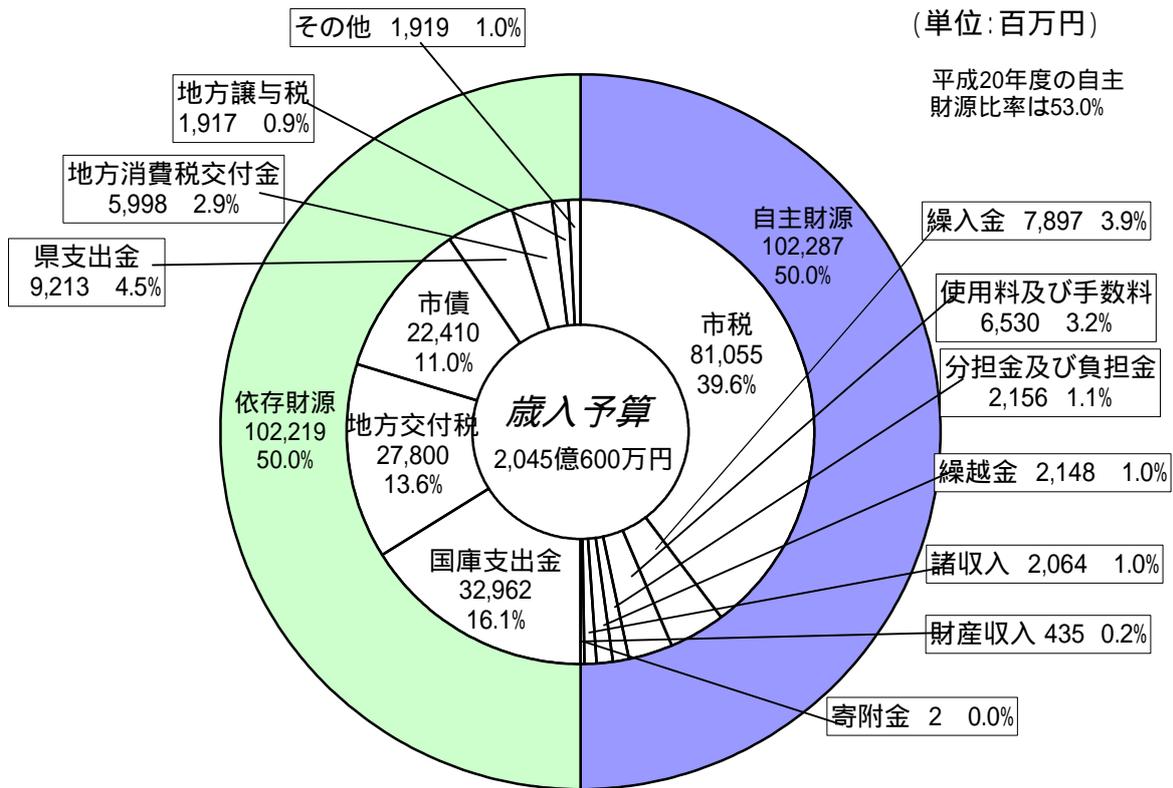
(単位:千円, %)

会 計	平成21年度(A)		平成20年度(B)		比較(A - B)	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	204,506,000	56.1	201,994,000	54.4	2,512,000	1.2
特 別 会 計	100,802,000	27.7	103,714,000	28.0	2,912,000	2.8
企 業 会 計	59,105,000	16.2	65,354,000	17.6	6,249,000	9.6
合 計	364,413,000	100.0	371,062,000	100.0	6,649,000	1.8

一般会計当初予算規模の推移



平成21年度 一般会計当初予算（案）歳入分類

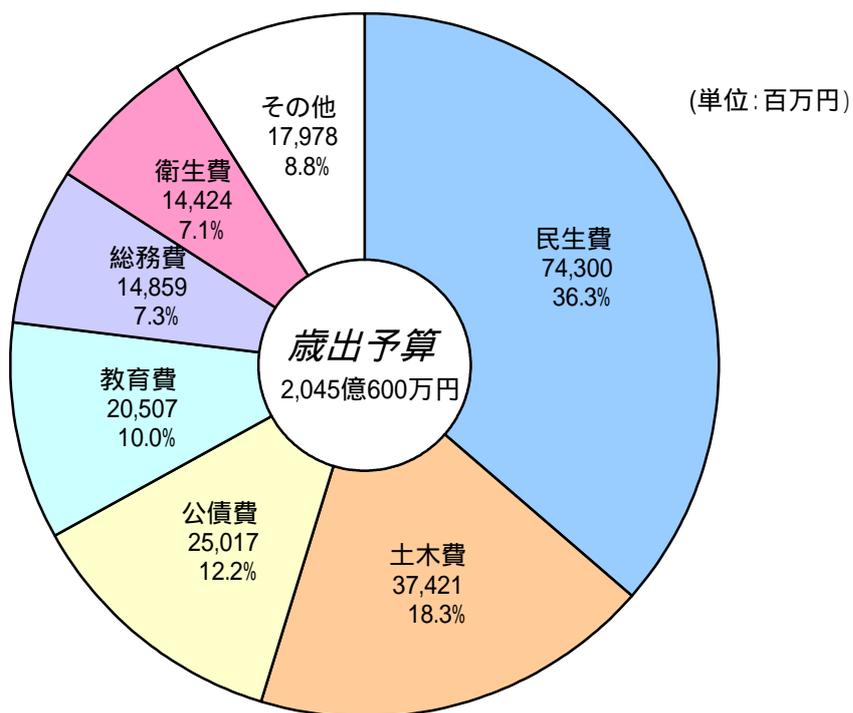


・市 税：景気後退の影響で、法人市民税などが大幅な減。
 ・繰入金：財政調整基金などの繰入れにより大幅な増。
 ・財産収入：ふれスポ用地売却収入の皆減により大幅な減
 ・国庫支出金：普通建設事業費や扶助費などが大幅な増。
 ・地方交付税：国の緊急対策に基づく「別枠」1兆円により増。
 ・市 債：臨時財政対策債などが大幅な増。

一般会計歳入予算款別前年度比較表 (単位:百万円, %)

区分	款	平成21年度(A)		平成20年度(B)		比較(A - B)	
		当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
自主財源	市 税	81,055	39.6	84,413	41.8	3,358	4.0
	繰 入 金	7,897	3.9	6,421	3.2	1,476	23.0
	使用料及び手数料	6,530	3.2	6,774	3.4	244	3.6
	分担金及び負担金	2,156	1.1	2,097	1.0	59	2.8
	繰 越 金	2,148	1.0	2,487	1.2	339	13.6
	諸 収 入	2,064	1.0	1,850	0.9	214	11.6
	財 産 収 入	435	0.2	3,062	1.5	2,627	85.8
	寄 附 金	2	0.0	3	0.0	1	46.4
小 計	102,287	50.0	107,107	53.0	4,820	4.5	
依存財源	国庫支出金	32,962	16.1	31,380	15.5	1,582	5.0
	地方交付税	27,800	13.6	26,500	13.1	1,300	4.9
	市 債	22,410	11.0	18,079	9.0	4,331	24.0
	県 支 出 金	9,213	4.5	8,976	4.5	237	2.6
	地方消費税交付金	5,998	2.9	5,590	2.8	408	7.3
	地方譲与税	1,917	0.9	2,079	1.0	162	7.8
	そ の 他	1,919	1.0	2,283	1.1	364	15.9
小 計	102,219	50.0	94,887	47.0	7,332	7.7	
合 計	204,506	100.0	201,994	100.0	2,512	1.2	

平成21年度 一般会計当初予算（案）歳出（目的別）分類

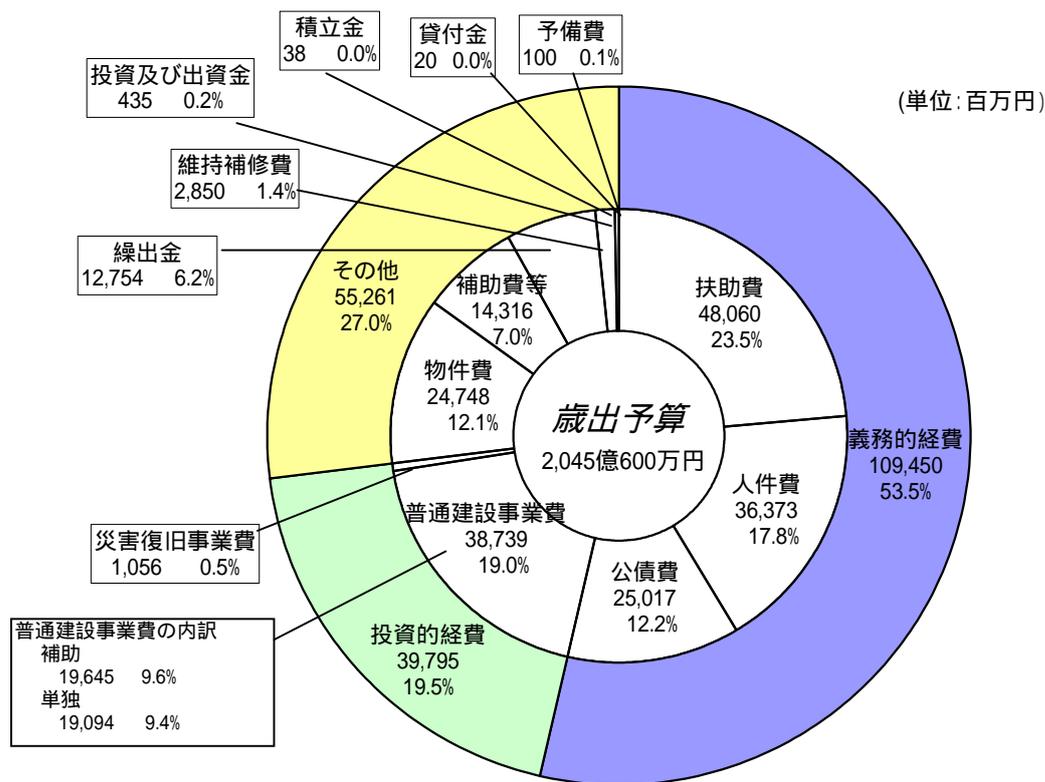


- ・総務費：県警察本部跡地購入費や建設事業基金積立金などが大幅な減。
- ・民生費：扶助費や国民健康保険事業繰出金(税軽減)などが増。
- ・商工費：新幹線全線開業を見据えた甲突川右岸緑地整備事業などが大幅な増。
- ・土木費：経済情勢等を考慮し、道路単独事業は63億円(対前年度5.9%増)を確保。
- ・教育費：新鴨池公園水泳プールや校舎・屋体等の整備事業などが増。

一般会計歳出予算(目的別)前年度比較表 (単位:百万円, %)

款	平成21年度(A)		平成20年度(B)		比較(A - B)	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
議会費	1,055	0.5	1,068	0.5	13	1.2
総務費	14,859	7.3	18,207	9.0	3,348	18.4
民生費	74,300	36.3	70,017	34.7	4,283	6.1
衛生費	14,424	7.1	13,864	6.9	560	4.0
農林水産業費	3,071	1.5	3,170	1.6	99	3.1
商工費	3,828	1.9	2,768	1.4	1,060	38.3
土木費	37,421	18.3	37,175	18.4	246	0.7
消防費	5,997	2.9	5,708	2.8	289	5.1
教育費	20,507	10.0	18,938	9.4	1,569	8.3
災害復旧費	1,056	0.5	1,160	0.6	104	9.0
公債費	25,017	12.2	26,461	13.1	1,444	5.5
諸支出金	2,871	1.4	3,358	1.6	487	14.5
予備費	100	0.1	100	0.0	0	0.0
合計	204,506	100.0	201,994	100.0	2,512	1.2

平成21年度 一般会計当初予算（案）歳出（性質別）分類



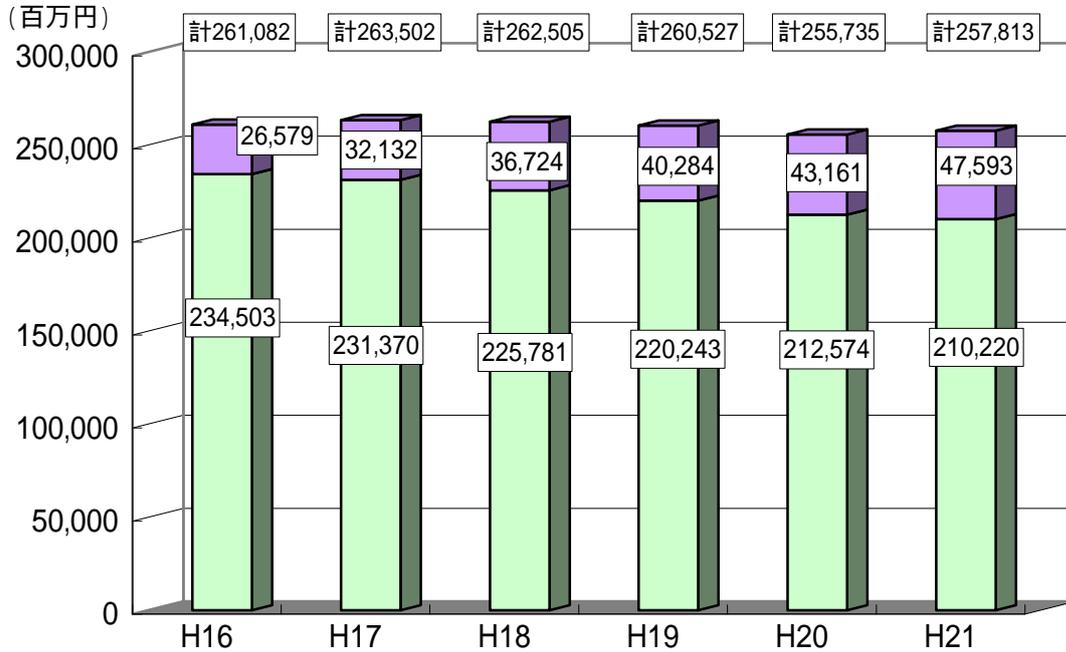
- ・扶助費：生活保護費、障害福祉サービス給付費などが増。
- ・公債費：補償金免除の繰上償還による元利償還金などが減。
- ・普通建設事業費：新鴨池公園水泳プール整備などが増。
- ・繰出金：国保税軽減のため、国保繰出金が増。

一般会計歳出予算（性質別）前年度比較表 (単位:百万円, %)

款	平成21年度(A)		平成20年度(B)		比較(A-B)	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
人件費	36,373	17.8	36,398	18.0	25	0.1
物件費	24,748	12.1	24,338	12.0	410	1.7
維持補修費	2,850	1.4	2,947	1.5	97	3.3
扶助費	48,060	23.5	45,755	22.6	2,305	5.0
補助費等	14,316	7.0	13,873	6.9	443	3.2
普通建設事業費	38,739	19.0	37,120	18.4	1,619	4.4
補助	19,645	9.6	17,586	8.7	2,059	11.7
単独	19,094	9.4	19,534	9.7	440	2.3
災害復旧事業費	1,056	0.5	1,160	0.6	104	9.0
補助	667	0.3	765	0.4	98	12.8
単独	389	0.2	395	0.2	6	1.6
公債費	25,017	12.2	26,416	13.1	1,399	5.3
積立金	38	0.0	1,407	0.7	1,369	97.3
投資及び出資金	435	0.2	916	0.5	481	52.5
貸付金	20	0.0	21	0.0	1	1.8
繰出金	12,754	6.2	11,543	5.7	1,211	10.5
予備費	100	0.1	100	0.0	0	0.0
合計	204,506	100.0	201,994	100.0	2,512	1.2

市債残高の推移

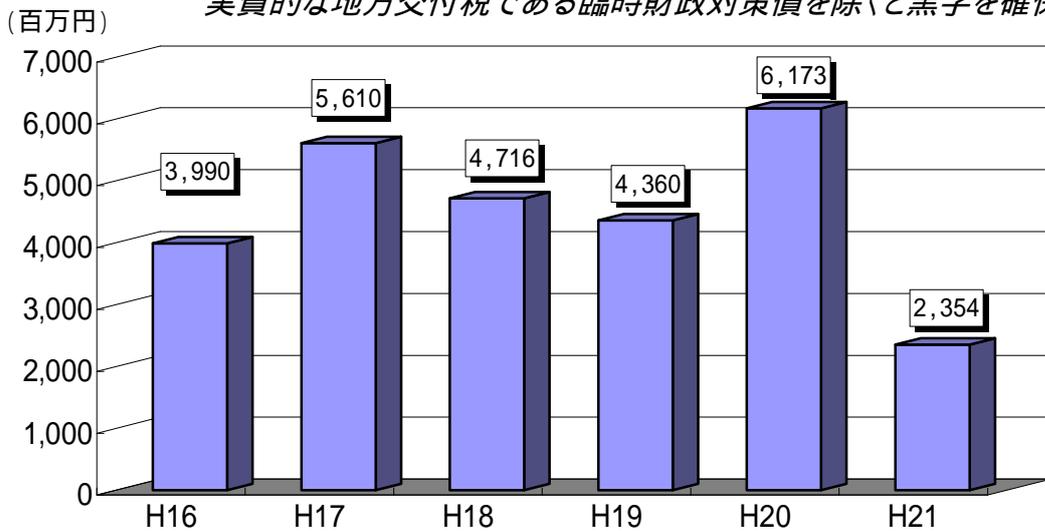
臨時財政対策債の大幅な増加などにより4年ぶりに増加。
実質的な地方交付税である臨時財政対策債を除くと着実に減少。



- (1) グラフの上段は地方交付税の振替えである臨時財政対策債です。
 (2) 下段は、臨時財政対策債を除いた残高です。
 (3) 19年度までは許可(同意)ベースの決算額, 20年度は最終補正後の見込み, 21年度は当初予算時の見込みです。

プライマリーバランスの推移 (基礎的財政収支)

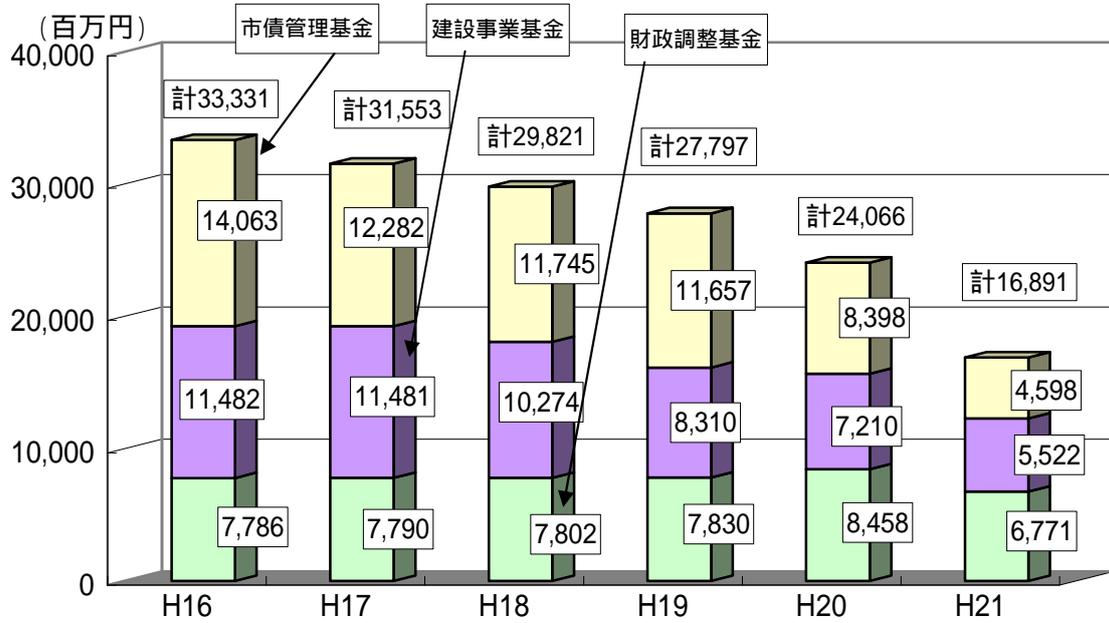
実質的な地方交付税である臨時財政対策債を除くと黒字を確保。



- (1) プライマリーバランスとは、借金を除いた歳入と借金返済(元金)を除いた歳出を比較したものです。
 (2) 各年度の当初予算におけるプライマリーバランスです。

基金残高の推移

景気後退等に伴う市税の減などにより大幅に減少。



- (1) グラフの上段は市債管理基金，中段は建設事業基金，下段は財政調整基金の残高です。
 (2) 19年度までは決算額，20年度は最終補正後の見込み，21年度は当初予算時の見込みです。